

Title	松本信廣博士将来の安南本について(下) : 慶應義塾図書館・松本文庫所蔵安南本解題
Sub Title	On the Vietnamese Han books collected by Dr. N. Matsumoto
Author	和田, 正彦(Wada, Masahiko)
Publisher	三田史学会
Publication year	1993
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.63, No.1/2 (1993. 8) ,p.127- 150
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	史料紹介
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19930800-0127">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19930800-0127</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 松本信廣博士将来の安南本について (下)

慶應義塾図書館・松本文庫所蔵安南本解題

和田 正彦

四四、國朝登科錄 版本一冊 高春育

(二四四—四四—二)

この版本(二六・〇cm×一五・三cm)は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子一葉。封面には「成泰甲午(一八九四)夏／國朝科榜錄／龍崗藏板」とある。

「國朝正副榜科錄序」は「大南成泰萬萬年之五年歲癸巳(一八九三)秋孟協吉 山興宣總督安春男古驩東高龍崗高春育子發序」、「成泰五年癸巳中秋日 光祿寺卿充國史館纂修兼辨欽天監事務古驩雙安文峯阮忠謹序」、「成泰六年(一八九四)五月中浣 勅賜第一甲進士及第第三名光祿寺少卿領河内學政兼充同文館夢海武范誠謹序」の三つを収める。ついで「凡例」(一四條)、「(科次)總數」がある。本文(六七葉、一頁七行、一行一八字前後)は

松本信廣博士将来の安南本について (下)

「國朝登科錄卷二」(明命三年(一八二二)壬午科／紹治七年(一八四七)丁未科)、「國朝登科錄卷二」(嗣德元年(一八四八)戊申恩科／嗣德二年(一八六八)戊辰科)、「國朝登科錄卷三」(嗣德二年(一八六九)己巳恩科／成泰四年(一八九二)壬辰科)、「國朝登科錄卷四」(成泰七年(一八九五)乙未科／成泰一〇年(一八九八)戊戌科)からなる。ただし「國朝登科錄卷四」の第三葉裏と第四葉表は白紙。なお、その内容は、明命六科(均正科)、紹治五科(恩科二、正科三)、嗣德一六科(恩科二、正科一二、制科一、雅士二)、建福一科(恩科)、成泰二科(正科)を収めており、明命三年／成泰四年の間の三〇科で、中格該五〇六員の内、正榜二二九員(一甲一一員、二甲四三員、三甲一七五員)と副榜二七七員であることが判る。また「國朝登科錄卷一」の文

頭に「山興宣總督安春男龍崗高春育子發編輯／男翰林院修撰領演博蚌沙高春肖／壻舉人馬峰鄧文瑞／蘭坪阮惟瓊校訂」とある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. 37 『登科録』) (T. V. G. 1. P. 22～23 註二 高春育) (T. V. G. 2. 125 『國朝科榜録』) (松本 一 一六九頁 三七 『國朝科榜録』 一本) (松本 一 なし) (山本 一 なし) (山本 二 なし) (川本 なし) (山本 三 なし) (山本 四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. R. 1 『國朝科榜録』 卷首、一至 三) R. 1723 『登科録』 R. 2257 『國朝科榜録』 卷 四) (TVKHXH. なし)

〔ヴェトナム語訳本・影印本・その他〕

Cao Xuân Dục biên tập. Lê Mạnh Liêu dịch giả: Quốc—  
Triều Đăng—Khoa Lục. Trung—Tâm Học—Liệu, Bộ Văn  
—Hóa Giáo—Dục và Thanh—Niên, 1974. 276pp.

四五、國朝鄉科録 版本四冊 高春育

(一四四—四五一四)

この版本 (二六・四cm×一五・四cm) の第一冊は、表

紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子一葉。封面には「成泰癸巳 (一八九三) 夏／國朝鄉科録／龍崗藏板」とある。本文 (一一三葉) は「國朝鄉科録卷首」(二三葉、一頁八行、一行一九字)、「凡例」(三葉、一頁七行、一行一七字)、「國朝鄉科録目錄」(一葉、一頁七行、一行一八字)、「國朝鄉科録卷一」(六六葉、一頁七行、一行一八字) からなる。「國朝鄉科録卷首」は「成泰四年壬辰 (一八九二) 重陽後二日 輔政大臣太子少保武顯殿大學士欽差北圻經畧大使延茂子泰川黃高啓」の「國朝鄉科録序」、「大南成泰萬萬年之五年歲癸巳 (一八九三) 秋季重陽後 山興宣總督安春男古驩龍崗高春育子發書于署之西軒 鄉亞 男蚌沙高春肖 壻馬峯鄧文瑞 校訂」の「鄉科録小引」、「天南科舉總論」、「天南前朝鄉會科次試法畧編」からなる。「國朝鄉科録卷一 鄉會試法附」は「嘉隆六年 (一八〇七) 丁卯科」、「嘉隆一二年 (一八一三) 癸酉科」、「嘉隆一八年 (一八一九) 己卯科」、「明命二年 (一八二二) 辛巳恩科」、「明命六年 (一八二五) 乙酉科」、「明命九年 (一八二八) 乙酉科」、「明命一二年 (一八三一) 辛卯科」からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子

一葉。封面なし。本文（八八葉、一頁七行、一行一八字）は「國朝鄉科錄卷二」で、「明命一五年（一八三四）甲午科」、「明命一六年（一八三五）乙未科」、「明命一八年（一八三七）丁酉科」、「明命二二年（一八四〇）庚子恩科」、「紹治元年（一八四一）辛丑恩科」、「紹治二年（一八四二）壬寅恩科」、「紹治三年（一八四三）癸卯科」、「紹治六年（一八四六）丙午科」、「紹治七年（一八四七）丁未恩科」からなる。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第三冊は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子一葉。封面なし。本文（一一五葉、一頁七行、一行一八字）は「國朝鄉科錄卷三」で、「嗣德元年（一八四八）戊申恩科」、「嗣德二年（一八四九）己酉科」、「嗣德三年（一八五〇）庚戌科」、「嗣德五年（一八五二）壬子科」、「嗣德八年（一八五五）乙卯科」、「嗣德一一年（一八五八）戊午科」、「嗣德一四年（一八六一）辛酉科」、「嗣德一七年（一八六四）甲子科」、「嗣德二〇年（一八六七）丁卯科」、「嗣德二二年（一八六八）戊辰恩科」、「嗣德二三年（一八七〇）庚午科」からなる。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第四冊は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子

松本信廣博士将来の安南本について（下）

一葉。封面なし。本文（一一九葉、一頁七行、一行一八字）は「國朝鄉科錄卷四」と「（國朝鄉科錄）續編」で、「國朝鄉科錄卷四」は「嗣德二六年（一八七三）癸酉科」、「嗣德二七年（一八七四）甲戌科」、「嗣德二九年（一八七六）丙子科」、「嗣德三一年（一八七八）戊寅恩科」、「嗣德三二年（一八七九）乙卯科」、「嗣德三五年（一八八二）壬午科」、「建福元年（一八八四）甲申恩科」、「咸宜乙酉年（一八八五）」、「同慶丙戌年（一八八六）恩科」、「同慶二年（一八八六）丁亥（一八八七）科」（由展）、「同慶三年（一八八七）戊子（一八八八）科」、「成泰三年（一八九一）辛卯科」からなり、「（國朝鄉科錄）續編」は「成泰六年（一八九四）甲午科」、「成泰九年（一八九七）丁酉科」からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

（C. なし）（G. 37『登科錄』）（T. V. G. 1. P. 22~23）（T. V. G. 2. 126『國朝鄉科錄』）（松本一 一六九頁三六『國朝鄉科錄』一帙）（松本二 なし）（山本一 なし）（山本二 なし）（川本 なし）（山本三 なし）（山本四 三三八頁 HM二二三『國朝鄉科錄』二冊）（藤原 七七頁 A七二『國朝鄉科錄』四冊）（東 な

し) (東写 なし) (TVQG. R. 2 『國朝郷科録 卷首、  
一』、R. 1549 同前、R. 3 『國朝郷科録卷二』、R. 4 『國  
朝郷科録 卷三』、R. 1550 同前、R. 5 『國朝郷科録  
卷四』、R. 1551 同前、) (TVKHXH. なし)

四六、東遊叢録 写本二冊 (呉汝綸)

(二四四—四六一)

第一冊 (二七・五cm×一六・四cm) は、表紙は洪塗り  
反古紙で一部破損し、題簽なし。封面には「東遊叢録  
一 論學(朱字)」とある。副葉子一葉。本文巻頭題署  
は「東遊叢録上卷 文部所講」とある。本文(九〇葉、  
一頁七行、一行二五字前後)は、各項目名は明記されて  
いないが、「教育行政」、「教育方針」、「教育大意」、「学  
校衛生」、「校地・校舎・寄宿舎・校具・圖書器械標本」、  
「学校管理」、「学級編成・学校共用など」、「外国大学・  
外国大学試験・外国大学学位・各国学税」、「教授法」、  
「考察成績」、「教科書」、「学校設備・圖書館」、「教科—  
日本・佛国・米国」および「東遊叢録 摘鈔日記」(四  
一葉)からなる。「東遊叢録 摘鈔日記」は明治三五年  
(一九〇二)に教育事情視察のために日本の長崎に到着  
した五月一五日から九月六日までの行動記録で、五月一

七日に神戸の松方船廠を視察し、同月二五日に東京大学  
(堂)に赴いて総長理学博士山川健次郎や文部大臣菊地  
大麓や理学博士神保小虎らと会見し、同月二八日に高等  
師範学校校長嘉納治五郎や高等女子師範学校校長高嶺秀夫や  
華族女学校学監下田歌子らと会見し、七月六日に大隈重  
信に、八月二日に司法大臣清浦奎吾とも会見したこと  
が分かる。裏副葉子一葉。裏表紙を欠く。

第二冊 (二七・五cm×一六・四cm) は、表紙は洪塗り  
反古紙で一部破損し、題簽は「東遊叢録下卷/學務」と  
ある。封面には「東遊叢録」とある。副葉子一葉。本文  
巻頭題署は「東遊叢録卷四 函札筆談」とある。本文  
(九〇葉、一頁八行、一行二五字前後)は「日戸勝郎來  
書」、「前山陽高等女学校校長望月興三郎來書」、「土屋弘  
來書」、「日本體育會體操学校松井二郎兵衛來書」、「西七  
月分熊本九州日日新聞譯文」、「西七月分東京二六新聞木  
村生譯文」、「西七月分東京日本新聞」、「井上哲次郎筆  
談」(問答体)、「西京儒員林正躬筆談」(問答体)、「長尾  
楨太郎筆談」(問答体)、「研經會筆談」(問答体)、「高木  
政勝筆談」(問答体)、「早川新次筆談」(問答体)、「失名  
氏筆談」(問答体)、「望月興三郎筆談」(問答体)、「經濟  
答問」(西九月廿六日經濟襍誌法学博士田口卯吉 譯文)、

「筆談傍記 細田謙藏述」、「文部大臣菊地談片 章宗祥録」、「大學總長山川談片 章宗祥録」、「前文部大臣濱尾新談片 張奎録」、「帝國教育會會長辻新次氏談片 吳振麟録」、「貴族院議員伊澤脩二氏談片 吳振麟録」、「貴族院議員男爵加藤弘之氏談片 吳振麟録」、「辻新次氏談片 吳振麟録」、「大槻如電問答」、「勝浦軼雄第一次來書」、「勝浦軼雄第二次來書」、「勝浦軼雄第三次來書」、「東京大學教授法学博士高橋作衛來書」からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じだが破損がある。

この写本は三三の『新學摘要』と同様に、和田博徳教授の研究によると、「清末の開明的官僚の一人で、光緒二八年（明治三五年）に京師大學堂の總教習に任ぜられて、教育視察のために日本へ來訪し、凡そ三箇月間滞在して同年末に歸国した」吳汝綸の著作であつて、ヴェトナム人の著作ではないことが分かる。和田博徳教授の研究については三三の『新學摘要』の付記を参照されたい。

(C. なし) (G. なし) (T. V. G. 1. なし) (T. V. G. 2. なし) (松本一 なし) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし)

松本信廣博士将来の安南本について (下)

(TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

四七、遊學紀聞 写本一冊 陳廷泰

(二四四—四七一)

この写本 (二七・三 cm × 一六・〇 cm) は、表紙は渋塗り反古紙で破損があり、題簽は「遊學紀聞 新書」とある。副葉子三枚。封面なし。本文巻頭題署は「遊學紀聞 歸善陳廷泰述」とある。本文 (三七葉、一頁八行、一行二五字前後) は主に日本の教育事情について記したもので、ヨーロッパの教育制度史、国民教育、道德、小学校 (徳 (ドイツ) 國・美 (アメリカ) 國・英 (イギリス) 國らと比較した日本の)、教育者、教授法、教科書編纂法、學級編制法、教員、中等學校、高等學校、大學、高等師範學校、女子高等師範學校、教科 (唱歌、體操など)、帝國圖書館、東京教育博物館などがその主な項目である。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

この写本も四六の『東遊叢録』と同様、和田博徳教授の研究によると、広東省惠州府歸善縣の陳廷泰という中国人の著作であつて、ヴェトナム人の著作ではない。和田博徳教授の研究については三三の『新學摘要』の付記を参照されたい。

(C.なし) (G.なし) (T.V.G.1.なし) (T.V.G.2.なし) (松本一 なし) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

四八、抑齋遺集 写本二冊 阮廌

(二四四—四八一)

第一冊(二五・三cm×一五・〇cm)は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。序は「陳克儉撰」の「抑齋詩集序」、「黎貴惇編定全越詩集序」、「抑齋先生行狀考」、「明命十四年(一八三三) 癸巳後學阮能靜書于梅花堂」の「序」(朱字)、「龍輯明命丁酉(一八三七) 孟春望前後學曲江陽亭吳世榮拜書于竹堂」の「濟文阮侯抑齋先生詩文集序」からなる。本文(五九葉、一頁八行、一行二三字前後)は「抑齋遺集 卷之一」(二六葉)と「抑齋遺集 卷之二」(三三葉)からなる。「抑齋遺集 卷之一」は「詩類 附贈答諸體」で、「遊山寺」以下の五言律詩と七言絶句 一〇二首(第一—二五葉) および贈答諸體七(第二六葉)を収める。「抑齋遺集 卷之二」は「文類」で、「軍中辭命」、「請降

書」、「詣總兵官及清化府衛宦書」、「與太監山壽書」、「與方政書」、「又答方政書」、「與王通書」、「諭北江城書」、「諭三江城書」などを収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊(二五・三cm×一五・〇cm)は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。本文(九三葉、一頁八行、一行二五字前後)は「抑齋遺集 卷之三」(三〇葉)、「抑齋遺集 卷之四」(四〇葉)、「抑齋遺集末附録卷之五」(二三葉)からなる。「後學 艮亭楊伯恭編輯、方亭阮定、仲敷吳世榮評閱」の「抑齋遺集 卷之三」は「文類」で、「(丙午年) 奏告文」、「求封表文」、「平吳大誥文(戊申)」、「氷壺遺事録」、「謝冊封表」、「國人謝冊封表」、「上皇太子表」、「藍山永陵神道碑記」、「至靈山賦」などを収める。「抑齋遺集 卷之四」は「文類」で、「輿地志」、「諸家評論」、「抑齋先生外傳」を収める。「抑齋遺集末附録卷之五」は「葉馬兒賦」、「清虚洞記」などを収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

なお、東洋文庫本は版本で、題簽・版心には「抑齋遺集」とあり、封面には「嗣德戊辰(一八六八) 秋／抑齋集／福溪原本」とある。全三冊で、第一冊は三つの「序」と「卷一 詩類 附贈答諸體」(三〇葉)と「卷二

詩類」(二五葉)からなる。二つの「序」は「明命六年丁酉春 後學陽亭吳世榮拜書于竹堂」の「序」(三葉)、「明命拾肆年癸巳春 後學阮能靜書于梅花堂」の「濟文阮侯抑齋先生詩文集序」(二葉)、「嗣德貳拾壹年戊辰秋仲 後學良亭楊伯恭拜」の「序」(二葉)である。「卷一詩類 附贈答諸體」は「遊山寺」以下の詩一〇二首と「崑山歌」「至靈山賦」など贈答諸體七を収める。「卷二詩類」は「化城晨鐘」以下の詩七六首と「乘馬兜賦」、「清虚洞記」を収める。第二冊は「卷三 文類」(三九葉)と「卷四 軍中詞命」(四四葉)からなる。「卷三文類」は「呈情謝罪表文」以下の文四〇、「平吳大誥文」などの表・詔・記・書を収める。「卷四 軍中詞命」は「請降書」以下二四を収める。第三冊は「卷五 事狀」(二八葉)と「卷六 附録」(三二葉)からなる。「卷五事狀」は「抑齋詩集序」(陳克儉撰)(二葉)、「抑齋詩集遺藁卷之五」(後學 良齋楊伯恭編輯 方亭阮定評閱 仲敷吳世榮考正)(一葉)、「先生事狀考」(二二葉)、「評論諸説」(一四葉)を収める。「卷六 附録 編定全越詩集序」は「編定全越詩集序」(桂堂黎貴惇)(一葉)、「抑齋遺藁卷之六」の「國書寶訓大全」、「輿地志」(阮天縱集註 阮天賜謹按 李子晉通論)(三二葉)を収める。

松本信廣博士将来の安南本について (下)

(C. 75 『抑齋集』) (G. 65 『抑齋詩集』) (T. V. G. 1. p. 43 註四 阮鷹, L. 45 『抑齋詩集』、P. 82 『抑齋詩集』) (T. V. G. 2. 6. 『抑齋集』または『抑齋遺集』、260. 『抑齋詩集』) (松本一 一六三—一六四頁 一二六一六 『抑齋集』二本、一三九 『抑齋集』一本、一三一 『抑齋詩集』一本、一七五三 『抑齋遺集』一本、二六六六 『抑齋遺集』一本、二〇六 『抑齋遺集』一本) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 一〇九頁 三一九八 『抑齋遺集』一本) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 三三六頁 HM二二一〇 『抑齋集』) (藤原 七七頁 六八 『抑齋集』四冊 版) (東 X—四—七) (東写 なし) (TVQG. R. 2016 『皇黎抑齋相公遺集』、R. 1769 『抑齋集 卷之一至二』、R. 674 『抑齋集 卷之一至三』、R. 963 同前、R. 1678 『抑齋集 卷之一至三』) (TVKHXH. なし)

『ヴェトナム語訳本・影印本・その他』

Nguyễn Trãi. Hoàng Khôi dịch. Ūc—Trai Tập Tập Thu'ng (Quyển 1, 2, 3) (Tủ Sách Cổ Văn, Ủy Ban Dịch Thuật, Ủy Ban Dịch Thuật, Saigon, 1971. 422 + CCp. ibit. Ūc—Trai Tập Tập Hạ (Quyển 4, 5, 6) (ibit., ibit.,



1972. 429~857+CCIII~CCCC XXXVIIpp.

四九、周原襍咏草 写本一冊 李文馥

(二四四—四九—一)

この写本(二四・八cm×一四・二cm)は、表紙は渋塗  
り反古紙で、題簽なし。副葉子は反古紙一葉。封面には  
「周原」と朱書されている。序は「紹治壬寅(一八四二)  
仲冬冬至前五日協辦大學士領禮部尚書思光子黎文德新氏  
書」の「周原襍咏草序」と「紹治貳年(一八四二)春月  
之吉 特授禮部右參知充使部正使克齋李文馥」の「自  
序」がある。本文(一〇五葉、一頁八行、一行二五字前  
後と一頁一〇行、一行二五字前後「上京行道中諸作」)  
は「永順 李文馥 隣芝 奉」の「周原襍咏草」、「附二  
氏耦談記」、「題粵行續吟集後」、「粵行續吟小引(明命十  
五年(一八三四)二陽之日)」、「粵行續吟草」、「永盛十  
一年(一七一五)歲次己未初冬之吉旦立」の「順化天姥  
寺碑銘」、「(白紙一葉あり)「上(朱字)京行道中諸作」  
からなる。裏副葉子二枚。裏表紙は表紙に同じ。

(C. 李文馥 129 『西行詩集』) (G. p. 31 註一 李文  
馥) (T. V. G. 1. P. 35~37 註一 李文馥) (T. V. G.

2. なし) (松本一 一五四頁 三〇四『周原襍咏』一  
帙、) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 一〇三  
頁 二九九二『周厚原襍咏草』一本) (川本 なし) (山  
本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし)  
(東写 なし) (TVQG. R. 240『周原襍咏草』)  
(TVKHXH. なし)

五〇、新編傳奇漫録増補解音集註 版本二冊四卷  
阮嶼 (二四四—五〇—一)

第一冊(二五・七cm×一五・二cm)は、表紙は渋塗  
り反古紙で、題簽なし。封面には「新編傳奇漫録」と墨書  
されている。封面裏は「傳奇漫録序」で「其録乃洪州  
之嘉福人阮嶼所著、公前朝進士翔縹之長子也(翔縹乃海  
陽洪州嘉福社松今社林人、於洪德二十七年(一四九六)  
丙辰科同進士、仕至尚書承使、今祀爲上等神)、少劬于  
學博覽彊記、欲以文章世其家、粵領鄉薦累中會試場、宰  
于清泉縣、纔得一稔邑、養母以全孝道、足不踏城市凡幾  
餘霜、於是筆斯録以寓意焉、觀其文辭不出宗吉藩籬之外  
(瞿宗吉著剪燈新話)、然有警戒者有規箴焉、其有關於世  
教、豈小補云旨」とある。副葉子なし。ついで「新編傳  
奇漫録増補解音集註目錄」(一葉、一頁八行、一行二一

字)がある。本文(二五八葉、一頁八行、一行二二字)は「卷之一」と「卷之二」を収め、本文は漢文で記し、訳文(解音部)は字喃で記してある。「本文巻頭題署」は「新編傳奇漫録増補解音集註卷之一」。「卷之一」は「項王祠記」、「快州義婦傳」、「木綿樹傳」、「茶童降誕録」(第四四葉裏と第四五葉表は重複、第六〇葉を欠く)、「西垣奇遇記」からなる。「卷之二」は「龍庭對訟録」、「陶氏業冤記」、「傘圓祠判事録」、「徐式僊婚録」、「范子虚遊天曹録」からなる。扉葉、「傳奇漫録序」、「新編傳奇漫録増補解音集註目錄」、本文の「卷之一」の「項王祠記」の第一〜五葉、「卷之二」の「范子虚遊天曹録」の第六九〜七七葉は欠損を墨書きで補訂してある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊(二五・七cm×一五・二cm)は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。本文(一三六葉、一頁八行、一行二二字)は「卷之三」と「卷之四」を収め、第一冊と同様、本文は漢文で記し、訳文(解音部)は字喃で記してある。「卷之三」は「昌江妖怪録」、「那山樵對録」、「東潮廢寺録」、「翠綃傳」、「沱江夜飲記」からなる。「卷之四」は「南昌女子傳」、「李將軍傳」、「麗娘傳」、「金華詩話記」、「夜叉部帥録」からなる。

松本信廣博士将来の安南本について(下)

本文末(第六六葉)に「旨 柳幢社阮碧家本重刊 景興二十四年(一七六三) 春月穀日」と墨書がある。裏副葉子二葉。裏表紙は表紙に同じ。

なお、東洋文庫所蔵の『舊編傳奇漫録』は、本文のみ、字喃による訳文の部分を欠いている。また封面には「永盛萬七年之八歳在辰(一七一一) 月在如穀旦刊行 類庵會註本 書坊紅蓼阮自信鋟梓」とあり、「序」には「永定初年(一五四七) 秋七月穀日 大安何善漢謹識 後學 絲川阮立夫編」とある。

(C. 82 『新編傳奇漫録増補解音集註』) (G. 130 『傳奇漫録』) (T. G. V. 1. L. 101 『傳奇漫録』、P. 179 『傳奇漫録』) (T. G. V. 2. 371 『傳奇漫録』) (松本一 一八五頁 一七六『新編傳奇漫録』一帙、一〇二『新編傳奇漫録』一部) (松本二 一二〇頁 一七五號 『傳奇漫録』貳本印 黎阮嶼、一三八頁 『傳奇漫録』壹部肆本 印本原貳部成泰五年捌月日奉進 内壹部存壹部蟲穿) (山本一 なし) (山本二 一〇八頁 三一六五『傳奇漫録』一本、一〇九頁 三二〇一『新編傳奇漫録』) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 三四一頁 H M二二三六『新編傳奇漫録』、b二五『傳奇漫録』卷一

—四 景興三十五年(一七七四)刊(藤原 なし)(東  
X—三—一〇)(東写 なし)(TVQG. R. 1450『新編傳  
奇漫録 卷之一』、R. 109『新編傳奇漫録 卷之一至二』、  
R. 1451『新編傳奇漫録 卷之二』、R. 1452『新編傳奇  
漫録 卷之二』、R. 1453『新編傳奇漫録 卷之四』、R.  
1565『新編傳奇漫録』、R. 424『傳奇漫録』、R. 1624  
同前)(TVKHHX. なし)

〔ヴェトナム語訳本・影印本・その他〕

Nguyễn Dữ: Ngô Văn Triển bản dịch, Bùi Kỳ giới thiệu:  
Truyện Kỳ Mạn Lục. (Truyện Cổ Việt Nam) Nhà Xuất  
Bản Tân Việt, Hà Nội, 1952. 263 pp.  
Nguyễn Dữ: Ngô Văn Triển bản dịch, Bùi Kỳ giới thiệu  
: Truyện Kỳ Mạn Lục. Nhà Xuất Bản Văn Học, Hà Nội,  
1971. 237 pp.  
Nguyễn Dữ: Bùi Xuân Trảng dịch: Tân—biên Truyện  
Kỳ Mạn Lục. 2 quyển. Bộ Quốc—Gia Giáo—Dục Xuất—  
Bản, Saigon, 1962.

阮嶼撰、類庵會註、陳益源校點『(新編)傳奇漫録』(陳  
慶浩・王三慶主編『越南漢文小說叢刊 第一冊 傳奇  
類』(法國遠東學院出版、臺北 臺灣學生書局發行、中

華民國七十六年(一九八七)四月)所収(一一—四八九  
頁)陳益源著『剪燈新話與傳奇漫録之比較研究』(臺北  
臺灣學生書局出版・發行、中華民國七十九年(一九九〇)  
七月)

奥野信太郎『安南文学の一例として見たる傳奇漫録』  
『中国文学』(中国文学研究会)第六七号 三五七—三六  
二頁 一九四〇

川本邦衛『伝奇漫録小攷』『藝文研究』(慶應義塾大学藝  
文學會)第二七号 三七五—三九四頁 一九六九

同 『研究ノート』『傳奇漫録増補解音集註』に見え  
る字喃について(一)『慶應義塾大学言語文化研究所紀  
要』第六号 一九—四二頁 一九七四

同 『傳奇漫録』研究ノート(二)『同上誌』第  
一六号 八三—一〇七頁 一九八四

同 『傳奇漫録』研究ノート(三)『同上誌』第  
一七号 七五—八九頁 一九八五

同 『傳奇漫録』研究ノート(四)『同上誌』第  
一九号 四一—七四頁 一九八七

同 『黎朝言語資料の解音について——字喃の転写  
に関する覚書——』『傳奇漫録』研究ノート(五)『同上  
誌』第二〇号 三三—七三頁 一九八八

同 「阮璵における剽窃と翻案」『同上誌』第二二  
号 一五〇三五頁 一九九〇

同 「『傳奇漫録』研究ノート(六)」『同上誌』第  
二三号 三九〇五九頁 一九九一

五一、呂塘遺藁詩集 写本一冊 蔡順

(二四四—五二—一)

この写本(二八・六cm×一七・二cm)は、表紙は渋塗  
り反古紙で、題簽なし。副葉子二葉で、二葉目に「松  
本」の印影あり。封面なし。「呂塘遺藁詩集序」(一葉)  
に「呂塘詩者呂塘先生之所作也、先生姓蔡名順字義和、  
超類縣柳林社人、洪徳六年舉進士、歴仕館閣二十餘年、  
道德文章爲一時所宗也云々」とある。ついで「呂塘遺藁  
詩集目次」(六葉)がある。本文(七一葉、一頁八行、  
一行一八字前後)は七言律詩(一六六)と五言律詩(一  
二)、七言絶句(八九)、怜應試不入格作(二)、五言律  
詩(二)からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。  
(C. なつ) (G. 87 『呂塘遺集』) (T. V. G. 1. L. 52 『呂  
塘遺集』、P. 92 『呂塘遺集』) (T. V. G. 2. 275 『呂塘遺  
(藁詩)集』) (松本一 一四八頁 一一一六 『呂塘詩集』  
一本、二九七 『呂塘詩集』一帙、二二八四 『呂塘遺藁詩

松本信廣博士将来の安南本について(下)

集』一本、二四三七 『呂塘遺藁詩集』一本) (松本二  
なし) (山本一 なし) (山本二 一〇九頁 三一九九  
『呂塘遺集』一本) (川本 なし) (山本三 なし) (山本  
四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし)  
(TVQG. R. 318 『<sup>ル</sup>呂堂遺稿詩集』) (TVKHXH. なつ)

五二、梁溪文艸 版本二冊 潘清簡

(二四四—五二—二)

第一冊(二五・六cm×一五・八cm)は、表紙は渋塗り  
反古紙で、題簽なし。副葉子は反古紙一葉(卷一六目  
次?)。封面なし。本文(五二葉、一頁一〇行、一行二  
〇字前後)は「永清潘清簡(字靖伯一字淡如別號梅川)  
著/男廉 叔青/男薊 仲升/男蓀 季湘 考校」とあ  
る「梁溪文艸 卷一」(三〇葉)と「梁溪文艸 卷二」  
(二二葉)からなる。「梁溪文艸 卷一」は、八つの表と  
三つの疏を収め、「授廣平參協謝表」、「授鴻臚寺卿充如  
清甲副使謝表」、「授大理寺卿充機密院大臣謝表」、「授戸  
部郎中辦理部務謝表」、「授戸部右侍郎謝表」、「授通政使  
司通政副使辦理戸部事務謝表」、「補授兵部右參知謝表」、  
「授刑部尚書謝表」および「廣南請安疏」、「明白迴奏輕  
擬王有光罪疏」、「遵諭瀝陳疏」である。「梁溪文艸 卷

一三七 (一三七)

二」は二つの記、四つの序、一つの文、一つの説、一つの誄、五つの書、二つの論を収め、「石乳鐘鼓記」、「石蟹記」、「鄧順川詩集序」、「張延芳學文餘集序」、「常正黎先生行餘集序」、「賀武太安人八十壽序」、「爲裴參知字說兼送往北使」、「陽亭吳世榮字說」、「誄吳師孟養告」、「與寧平護撫陳希永書」、「與學弟阮德裕書」、「與友人書」、「在寧平與阮有珪書」、「荅吳世榮寄求壽帳書」、「性中無孝弟論」、「孝弟爲仁本論」である。裏副葉子は副葉子に同じ。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊(二五・六cm×十五・八cm)は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子は反古紙一葉(李宗寨山行(詩)など)。封面なし。本文(五三葉、一頁一〇行、一行二〇字前後)は「梁溪文艸 卷二」(三九葉)と「梁溪文艸 卷四」(四葉)と「梁溪文艸補遺」(一〇葉)からなる。「梁溪文艸 卷三」は、四つの論、一つの辯、一つの賦、一つの箴、一つの頌、二つの狀、一つの碑銘を収め、「奉御題召和論」、「奉御題泰伯三讓天下論」、「奉御題好名論」、「奉御題文臣不愛錢論」、「奉御題武丁夢賚良弼辯」、「奉御題射虎賦」、「四箴」、「視學頌」、「陳野老行狀」、「戸部尚書魏公善甫行狀」、「太保勤政殿大學士德國公范忠雅公墓碑銘」である。「梁溪文艸 卷四」

は二二の詩を収め、「梅林二十詠」(七言絶句二〇篇)、「西帥鋪那印小照不成詩以自嘲」(此講和後在嘉定作)(七言律詩)、「無題」(七言律詩)である。「梁溪文艸補遺」は一つの碑銘、一つの記、一つの誄書、一つの遺疏を収め、「嘉定處士崇德武先生碑銘」、「天依神女記」、「奉本省督藩臬三位請爲先父誄書并述狀」、「遺疏」である。裏副葉子は副葉子に同じ。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. なし) (T. G. V. 1. なし) (T. G. V. 2. なし) (松本一 一六六頁 二九二『梁溪文草』一帙、) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. なし) (TYKHXH. なし)

五三、鸚言詩集 写本一冊 吳時仕

(二四四—五三一—)

この写本(二七・〇cm×一五・二cm)は、表紙は洪塗り反古紙で破損しており、題簽なし。副葉子は刷すり損じの反古紙一葉。封面なし。「景興三十年(一七六九)己丑旦 午峯居士青威吳時仕書於清華之觀瀾巢」の「鸚

言詩集自序」(二葉)がある。本文(六〇葉、一頁八行、一行二二字前後)は、「題黃舎山梓童觀」以下六つの七言律詩、「擬王昭君出塞吟十絶」以下一〇の七言絶句、「織女懷牛郎」の五言律詩、「檳榔樹」以下九つの七言律詩、「春景」以下三つの五言律詩、「舟泛偈江」の七言律詩、「道旁荔枝」以下三つの七言絶句、「十六夜戲成四字」の四字一八句、「測海」以下の二つの七言律詩、「泉甘道中」以下の二つの七言絶句、「眷陰」の七言律詩、「席上對物賦得十絶」、「詠四趣」、「丙寅年長男生」の七言律詩(命名時任)、「正月」以下「十二月」までの八つの七言律詩、「甲戌秋七月奉御駕省方云々」以下の二三の七言律詩、「七月下旬再上鄭甸陸云々」の五言律詩、「春日早起」以下五八の七言絶句、二つの五言律詩(第二四、二七葉)、「琰酬親家阮清齋見寄一首」の七言律詩、「秋日聞居」以下の三つの七言律詩、「贈大定友人擬古」の七言古詩、「警頑歌」の七言古詩、「秋夕納涼」以下の五つの七言律詩、「望懷安諸山」十韻、「在清華恭遇」、「酬監後年薰山西吳督同古風 長第二十七韻」、「答案同太原清華官味因所樂」(二十二進退格)、「挽先聖恩王」、「題貞山寺」、「嶺龜出水」、「喜捷詩并引」、「歌篇 葛埋城隍詩并引」、「詠新月詩」、「經東 祖市風景詩并叙」などを収

松本信廣博士将来の安南本について(下)

める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. P. 66 註11) (T. V. G. 1. P. 146 『鸚言詩集』) (T. V. G. 2. 325. 『鸚言詩集』) (松本一 なし) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

五四、明良錦繡詩集・珠璣勝賞詩集 写本一冊  
黎聖宗 (二四四—五四—一)

この写本(二一・九cm×一三・七cm)は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子二枚。封面なし。本文(三八葉、一頁七行、一行二〇字前後)は、「明良錦繡詩集」(二五葉)と「珠璣勝賞詩集」(二三葉)からなる。「明良錦繡詩集」は、「洪徳元年(二四七〇)庚寅十一月初六日黎聖宗進征占城、辛卯二年(二四七二)正月初一日拾占主茶全、二日詔班師、四月十一日還宮」の時に詠んだ「御製神符海門旅次」以下一五篇の七言律詩、東閣大學士の申仁忠・杜潤・陶舉、東閣校書の吳綸・黎俊彦・范福昭・吳煥、翰林院侍講の梁世榮、翰林院侍讀の

阮仲懿、翰林院侍書の武暘・阮仁被、翰林院校理の阮益齡・陳就・陳琦・范克慎、翰林院校討の阮益遜・程志森・申仁信・譚慎微・范廣孝らの各一篇全二〇篇の七言律詩、「御製題緑岡洞」(洪徳二五年(一四九四)三月十七日)と上記二〇名各一篇全二〇篇の奉和、「御製奠才子詩」と上記二〇名各一篇全二〇篇の奉和からなる。

「珠璣勝賞詩集」は、「御製題壺公洞并引」、「御製題浴翠山詩并引」、「御製宝天洞主題并引」、「御製題白鷗洞詩(属天南洞主)」、「御製題白鷗洞寺 二題」、「御製又自寓一律」、「御製題竜光洞詩并引(属天南洞主)」、「御製脩夢寺柱刻(属天南洞主)」、「御製題阿盘山詩」、「御製上陽洞主題」、「御製題浴翠山詩并引(属上陽洞)」、「御製題壺公洞(属上陽洞)」、「御製題竜隊山崇善延始宝塔碑」、「御製題猫子山」、「御製天南洞主題」、「御製題柴山寺(属天南洞)」、「御製題照白山并引」、「御製白藤江興(時駐師于傳燈山下)」、「御製駐膠水江」と申仁忠・杜潤・梁世榮・呉綸・武暘・陳琦・范克慎・阮益遜・阮益齡・陳? (程) 志森・譚慎微・范廣孝らの各一篇全二二篇の奉和、「御製翠靄州清明賜宴重手格」と陶舉・梁世榮の奉和(第三七―三八葉)、「御製遺太子入學詩」からなる。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. 80 『明良錦繡』) (T. V. G. 1. L. 40 『明良錦繡』, p. 80 『明良錦繡』) (T. V. G. 2. 273 『明良錦繡』) (松本一 一五〇頁 二五四 『明良錦繡詩集』一帙、一四一三 『明良錦繡瓊苑九歌』一本) (松本二 一三〇頁 三八〇 『明良錦繡』參本、一三八頁 『明良錦繡詩集』貳本(内壹本小紙壹本大紙間有蟲穿朱墨)) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

五五、鏡海續吟・學吟存艸 写本一冊 李文馥 (二四四―五五―一)

この写本(二七・九cm×一七・四cm)は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。はじめに「協辨大學士領工部尚書兼管翰林院兼領國子監事務加軍功二級紀錄二十次恩光子黎文徳月新氏跋并書」の「鏡海續吟跋」(二葉)があり、ついで「永順克齋李文馥隣芝自序」の「鏡海續吟序」(二葉)と七言律詩と七言絶句一〇五篇を集めた「宵亦渡河」(二三葉、一頁八行、一行二七字前後)がある。さらに「明命七年(一八二六)己丑秋七月自叙于世頼帳所」(二葉)と「梅峯潘霖

卿輝注墨評、豪川范拔卿廷擢硃評」による「佛聯家範」など一〇六篇の詩を集めた「學吟存艸」(三〇葉、一頁九行、一行二〇字前後)がある。裏副葉子なし。裏表紙は香色洋紙反古紙。

(C. なし) (G. なし) (T. V. G. 1. P. 36~37 『鏡海續吟草』、P. 35 又註二『學吟存草』) (T. V. G. 2. なし) (松本一 一九四頁 二七四〇『學吟存草』一本、二〇四七『學吟存草』一本、三〇二『學吟存草』一帙、二〇一頁三〇三『鏡海續吟』一帙) (松本一 なし) (山本一 なし) (山本一 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. R. 1715 『學吟存草』) (TVKHXH. なし)

五六、皇黎一統志 写本一冊 (呉時倅)

(二四四—五六—)

この写本(三〇・一cm×一六・三cm)は、表紙は小豆色厚手洋紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。本文第一葉を欠く。本文巻頭題署は「皇黎一統志 卷之一」。本文(七〇葉、一頁八行、一行二五—三〇字)は、「第一回 鄧宦妃寵冠後宮 王世子教?居幽室」、「第二回

立奠都七輔受遺 殺暉郡三軍扶主」、「第三回 揚元舅議斬驕兵 阮國師謀清内難」、「第四回 復師讐阮有整援外兵 赴國難李陳瓊殉故主」、「第五回 扶正統上公觀闕締鄰婚公主出車」および「附 一統規模」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. 131 『安南一統志』) (T. V. G. 1. P. 201 『安南一統志』) (T. V. G. 2. 336 『安南一統志』) (松本一 一五九頁 二六六八『皇黎一統志』一帙 一六〇頁二二『皇黎一統志』一帙) (松本一 一三六頁『安南一統志』參本 青威呉倅撰) (山本一 なし) (山本一 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 三二—三三二頁 HM二二四三『皇黎一統志』一冊 寫) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. R. 1655 『安南一統志』、R. 1909 『安南一統志 第一回至第七回』) (TVKHXH. なし)

【ヴェトナム語訳本・影印本・その他】

Ngô Gia Văn Phái. Ngô Tất Tô dịch: Hoàng Lê Nhất Thống Chí. Nhà Xuất Bản Văn Hoá, Hà Nội, 1958. 416 pp.



Ngô Thời Chí. Ngô Tất Tò bản dịch : Hoàng Lê Nhất Thống Chí. Nhà Xuất Bản Tự Do, Hà Nội, 1958. 287 pp.  
 Ngô Thời Chí. Lê Trí Viên chọn lọc, giới thiệu, chú thích : Hoàng Lê Nhất Thống Chí (Tác Phẩm Chọn Lọc (dùng trong nhà trường). Nhà Xuất Bản Giáo Dục, Hà Nội, 1969. 139 pp.

Ngô Gia Văn Phái. Nguyễn Đức Văn, Kiều Thu Hoạch dịch : Hoàng Lê Nhất Thống Chí Tiểu Thuyết Lịch Sử I (Tủ Sách Văn Học Mới Nhà, Văn Học Việt Nam). Nhà Xuất Bản Văn Học, Hà Nội, 1984. 215 pp.

ibit. : Hoàng Lê Nhất Thống Chí Tiểu Thuyết Lịch Sử II (ibit.). ibit., 1984. 242 pp.

呉佐撰、鄭阿財・朱鳳玉校點『皇黎一統志』(陳慶浩・王三慶主編『越南漢文小說叢刊 第五冊 歷史小說類』(法國遠東學院出版、臺北 臺灣學生書局發行、中華民國七十六年(一九八七)四月)所収(一一―二六二頁))

五七、皇越詩選 版本二冊六卷 (裴輝壁)

(二四四―五七一)

第一冊(二六・二三×一五・四cm)は、表紙は洩塗り

反古紙で、題簽なし。副葉子一葉。封面なし。小引(二葉)には「皇越詩選 存庵家藏」とあり、「詩抄原本小引」と「詩抄原本目次」からなり、印影(「存庵家藏」と「天東氏藏版」)がある。ついで「皇越詩選目録」(三葉)がある。本文(六五葉、一頁九行、一行二三字)は「卷之一 上集」、「卷之二 中集」、「卷之三 中集」からなり、「卷之一 上集」(一八葉、ただし第一葉を欠く)は李朝皇帝二名二首(太宗一首、仁宗一首)・陳朝皇帝六名二四首(太宗一首、聖宗三首、仁宗八首、英宗三首、明宗六首、藝宗三首)・黎朝皇帝四名四四首(太祖三首、太宗一首、聖宗三五首、憲宗五首)の「該柒拾篇首」を収める。「卷之二 中集」(二三葉)は李朝諸家五名五首(段文欽一首、僧萬行一首、僧空路一首、僧滿覺一首)・陳朝諸家三〇名九七首(陳光啓三首、范五老一首、裴宗瑾一首、莫挺之二首、裴慕一首、陳光朝二首、阮昶四首、陳億三首、杜子微一首、范宗邁二首、朱唐成二首、阮忠彦二首、范遇二首、朱唐英二首、張漢超五首、朱安七首、黎括三首、范師孟二首、陳光旦九首、范仁卿三首、陳廷琛一首、無名氏二首、僧法螺一首、僧玄光七首、(附胡)胡宗鷺一首、阮飛卿四首、陳婁一首、范汝翼一首、黎景詢一首、(後陳)鄧容一首)の「該壹

百貳首」を収める。「卷之三 中集」は黎朝國初諸家三名（黎鷹一四首、李子晋八首、李子構八首、程師孟一首、阮夢荀六首、武夢原二首、黎少穎五首、黎叔穎一首、陳孚先六首、陶公僕二首、程舜俞一首、武邦衡一首、阮克孝一首、阮天縱二首、武永楨二首、朱三省一首、陳倪侃三首、程清二首、阮天賜七首、朱車二首、阮廷美二首、陳時中三首、阮彭一首、尹衡一首、阮直四首、阮如堵四首、梁如鵠二首、武覽三首、黎蘇三首、王師翟三首、黎弘毓二首）の「該壹百篇首」を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二六・二cm×一五・四cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子二葉。封面なし。本文（七三葉、一頁九行、一行23字）は「卷之四 中集」、「卷之五 下集」、「卷之六 下集」からなり、「卷之四 中集」（三二葉）は黎朝國初諸家三五名（建王一首、福王二首、梁王一首、唐王一首、黎權一首、申仁忠一首、杜潤八首、梁世榮一首、阮德貞一首、郭有嚴一首、陶舉四首、阮仲懿三首、覃文禮六首、黎彦俊二首、吳綸二首、阮保一二首、蔡順二五首、黎廣志一首、武瓊二首、黃德良一〇首、杜覲二首、陳景四首、阮旭二首、馮碩一首、符叔宏二首、陳光弼一首、鄧明璧三首、阮益遜一首、鄧

鳴謙一五首、吳驩二首、武睿一首、吳煥一首、楊直源一首、譚慎徽一首、無名氏一首）の「該壹百參拾貳首」を収める。「卷之五 下集」（二五葉）は黎朝景統以後諸家一〇名（黃澂一首、武幹三首、（莫附）阮文泰一首、范謙柄一首、阮秉謙一七首、甲海四首、黃士愷一首、阮嶼五首、黎光賁二首、無名氏二首）と黎朝光興以後至景興初年諸家二七名（馮克寬四首、裴秉瀾一首、吳士榮二首、阮廷柱一首、黎僖一首、鄧廷相五首、阮貴德一首、阮當褒一首、阮登道二首、武賊一首、阮邁一首、阮公沆六首、范謙益五首、杜令名一首、裴昌嗣二首、阮公案一首、阮翹四首、阮宗室九首、武公鎮一首、阮儼二首、鄭穗一首、汝廷瓚一首、范廷重一首、吳時億一首、陳文燿三首、阮輝儉三首、阮輝徹一首）の合計「該玖拾玖首」を収める。「卷之六 下集」（一七葉）は黎朝景興中晚諸家一七名（黎貴惇一首、段阮俶七首、阮伯猗一首、武輝珽一首、吳時仕五首、裴用賓一首、李陳瓚一首、阮濯一首、阮香五首、吳仲珪一首、胡士棟八首、汝公瑱一首、范阮攸三首、裴存庵壁六首、阮廷簡一首、范適齋四首、裴軸二首）の合計「該伍拾玖首」を収める。第一七葉裏に「待選舊缺、鄧陳琨、阮梅軒」とある。裏副葉子二枚。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. P. 14~16 註六) (T. V. G. 1. L. 44  
『拙齋文集』ほかの註、P. 44 『周易國音解義』ほかの  
註) (T. V. G. 2. 234. 『皇越詩選』) (松本一 一五九頁  
六〇八 『皇越詩選』一帙) (松本二 一三二頁 三八九  
號 『皇越詩文選』參部 内壹部五本、内壹部參本、内壹  
部貳本、一四〇頁 『皇越詩文選』五部各肆本「禮部交  
守由印本以下」) (山本一 なし) (山本二 九九頁 二  
八五七 『皇越詩選』(印) 三本、一〇八頁 三一六三  
『皇越詩選』三本) (川本 なし) (山本三 なし) (山本  
四 三三六頁 HM 二二一四 『皇越詩選』) (藤原 なし)  
(東 X—四—一) (東写 なし) (TVQG. R. 292 『皇越  
詩選』、R. 968 『皇越詩選』卷之一至三』、R. 1416 『皇  
越詩選』卷之一至六』、R. 969 『皇越詩選』卷之四至六』、  
R. 1903 『皇越詩選』(卷之一の一部)) (TVKHXH. な  
し)

五八、認齋文集 版本五冊 黎黃

(二四四—五八—五)

第一冊 (二五・六cm×一五・一cm、以下同じ) は、表  
紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子二葉。封面には  
「嗣徳」未 (二二年 一八五九) 仲秋新鐫／認齋文集／

瞻拜堂藏板」とある。ついで「丁未科二甲進士中順大夫  
南定等處地方提刑按察使司按察使鄭廷泰 北寧如鳳舉人  
阮漣承草」の「嗣徳」未仲秋下浣吉日謹識」の「序」  
(四葉、一頁六行、一行一六字) があり、これから「認  
齋」が「景興壬子 (一七九二) 四月六日甲辰乙丑牌生」  
で「阮國寶、陳伯覽 (雲耕)、阮衙 (左溪)、范貴適 (立  
齋)」らに師事し、「紹治六年 (一八四六) 卒」した「青  
池仁睦人」の「黎黃」であることが分かる。本文巻頭題  
署は「先興府教授認齋黎黃先生文集」で、本文 (七三葉、  
一頁八行、一行二〇字) は「門弟 鄭廷泰 校訂」の  
「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之一」(三二葉) と  
「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之二」(四一葉) であ  
る。「卷之一」は「對聯」、「詩集」、「文類 (壽、碑記、  
祭文、誄文)」、「對聯」、「文類」を収め、「卷之二」は  
「制義」を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。  
第二冊は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子  
は二葉 (香色一葉と反古紙一葉)。封面なし。本文 (七  
七葉、一頁八行、一行二〇字) は「先興府教授認齋黎黃  
先生文集 卷之三」(四一葉) と「先興府教授認齋黎黃  
先生文集 卷之四」(三六葉) である。「卷之三」は「制  
義」を収め、「卷之四」は「賦」を収める。裏副葉子一

葉。裏表紙は表紙に同じ。

第三冊は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子は二葉（香色一葉と反古紙一葉）。封面なし。本文（八七葉、一頁八行、一行二〇字）は「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之五」（三五葉）と「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之六」（五二葉）である。「卷之五」は「賦」を収め、「卷之六」は「策文」（ただし第一七葉と第三〇葉は第一七葉上と第三〇葉上がある）を収める。裏副葉子二葉。裏表紙は表紙に同じ。

第四冊は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子は二葉（香色一枚と反古紙一枚「卷之九 第一葉」）。封面なし。本文（一二三葉、一頁八行、一行二〇字）は「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之七」（六〇葉）と「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之八」（六二葉）である。「卷之七」は「策文」を収め、「卷之八」は「策文」を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第五冊は、表紙は渋塗り反古紙で、題簽なし。副葉子二葉。封面なし。本文（九七葉、一頁八行、一行二〇字）は「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之九」（五四葉）と「先興府教授認齋黎黃先生文集 卷之十」（四三葉）である。「卷之九」は「策文」を収め、「卷之十」は

「策文」を収める。裏副葉子二葉（反古紙一葉「卷之三 第四〇葉」と香色一葉）。裏表紙は表紙に同じ。

なお、「国家図書館」（TVQG）の図書カードには Dao (Nguyễn đình) 阮廷遙 Nhâm — trai văn tập [chữ Hán]、認齋文集。卷之一至四」とあり、著者を「阮廷遙」とする。

(C. なし) (G. なし) (T. V. G. 1. なし) (T. V. G. 2. なし) (松本一 一六五頁 一二三『認齋文集』一帙、二六五六『認齋文集』三本) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. R. 80 『認齋文集 卷之一至四』、R. 300 『認齋文集 卷之一至三』、R. 2176 『認齋文集 卷之三至四』、R. 1628 『認齋文集 卷之四至五』、R. 2177 『認齋文集 卷之五至六』、R. 2178 『認齋文集 卷之七至八』、R. 2144 『認齋文集 卷之八』、R. 2145 『認齋文集 卷之九至十』、R. 2179 『認齋文集 卷之九至十』) (TVKHXH. なし)

五九、白雲筆艸 写本一冊 (阮秉謙)

(二四四—五九—一)

この写本(二六・二cm×一四・八cm)は、表紙は渋塗  
り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。本文  
(八六葉、一頁八行、一行二二字前後)は、「莫朝乙未科  
(二五三五) 會試 經綸天下大經賦 李白体 優分 阮  
先生永頼中庵 慈科中第一甲」、「吏部尚書詠詩」(七言  
律詩)、「程國公謝援兵啓云々」、「白雲庵寓興二首」以下  
「寄友人(統元年間(一五二一—二七)作)」、「望潮樓三  
首」、「元旦偶成一〇首」、「春雨嘆(高舎友人)一首」、  
「中津館二老榕樹」、「椰子二首」、「紙鳶(關古詩韻)」、  
「承塵(御前作)」、「簾」などの七言律詩など一四七首を  
収める。第四七葉表の文末に「白雲筆艸」とある。第四  
八葉は乱丁のために詩題や首数不詳(三首以上か?)。  
さらに「感興四首」以下、「自述二首(与高舎友人共臥  
時有名妓把琴而歌)」、「中津館寓興九〇首」、「讀周易有  
感」、「偶成」などの七言律詩など一四七首を収める。裏  
副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なつ) (G. 99 『白雲庵集』) (T. V. G. 1. L. 75 『白

雲庵集』、P. 116 『白雲庵集』) (T. V. G. 2. 294 『白雲  
庵集』) (松本一 一三七頁 二五九—『白雲庵詩集』一  
本、一三五〇『白雲庵詩集』卷十一 一本、二二五六  
『白雲庵詩集』一本、二〇三一『白雲庵詩集』一本、二  
九六『白雲詩集』一帙、又二本) (松本二 なし) (山本  
一 なし) (山本二 なし) (川本 一二六頁 七四『白  
雲庵程國公詩集』(阮秉謙) 九冊、七五『白雲先生詩集』  
維新元年鈔 一冊 七九頁) (山本三 なし) (山本四  
なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし)  
(TVQG. R. 1917 『白雲庵詩集』、R. 1813 『白雲庵詩集』、  
R. 2017 『白雲庵詩集』、R. 105 『白雲庵詩集』、R. 101  
『白雲庵先生(詩集)』、R. 1718 『白雲詩集』)  
(TVKHXH. A. 1350)

六〇、富溪文集 写本一冊 阮富溪

(二四四—六〇—一)

この写本(二六・五cm×一五・一cm)は、表紙は渋塗  
り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面なし。本文卷  
頭題署は「富溪文集」で、本文(九三葉、一頁一一行、  
一行三〇字前後)の最初(第一・二葉)に「公戊午科  
(嗣徳十一年(一八五八)) 秋元阮大字小之富溪人也、擬

江祠堂對、少登舉發甲午（明命一五年（一八三四））十省秋元、邇吾祖探花公復始、初出宰歷京署十年清官、以慶安按察使歸間、擬郡下机事送郡守宜人喪、皇朝嗣德丙寅（一九年＝一八六六）秋七月、吾郡太守尊室夫人宜人陳氏卒于郡之泣、太守以宜人之櫬南歸云々」とあることから、この写本が「阮富溪（本名不詳）」の文集であることが分かる。作品は「擬半子泣岳丈敍」、「擬平江守雙侍壽旦半子壽言」、「擬人泣内子大母哀悵」、「擬郡文紳賀郡守敍」、「問洞峯阮秀兄失父書」、「穫塾謾記」、「答客」など八八種。なお、第一〇葉は下部に破損あり。「下第後復香川書」など叙一九種、「瓊瑰縣訓導阮文甲賀壽帳文」など三八種、「祭叔父文」、「祭岳父文」、「秋夜清興」など三〇首、「秀才留事」、「古硯」など八首、「思恩曲」、「留東山藩詩」など一七首、「花乙吟」、「夏景集千家詩」一〇首、「秋景集千家詩」一〇首、「冬景集千家詩」一〇首、「登三疊山」など一〇首、「詩萬廟對」など一〇首、「硯池記」を収める。本文末に「侍讀阮夢蓮高閣在山城之東（由得降順安知府回休致賀）云々」とある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. なし) (T. V. G. 1. なし) (T. V. G. 2. なし)

松本信廣博士将来の安南本について（下）

し）（松本一 なし）（松本二 なし）（山本一 なし）（山本二 なし）（川本 なし）（山本三 なし）（山本四 なし）（藤原 なし）（東 なし）（東写 なし）  
(TVG. なし) (TYKHE. なし)

六一、傳奇新譜 版本一冊 紅霞段夫人（段氏點）  
(二四四—六一—二)

この版本（二七・五cm×一五・七cm）は、表紙は洪塗り反古紙で、題簽なし。副葉子なし。封面の表には「（上）嘉隆十年辛（二八一）（右）紅霞段夫人著（中）傳奇新譜（左）樂善堂藏板」とあり、同裏には「（上）未春日日鐫（右から）海口靈祠錄・碧溝奇遇錄・雲葛神女傳・松柏説話龍虎闘奇・安邑烈女錄」とある。本文（九一葉、第一―四二葉は一頁一〇行、一行二〇字で野線なし、第四三―九一葉は一頁一〇行、一行一八字で野線あり）は「海口靈祠錄 樂善堂藏藁 文江紅霞女子著 家兄雪庵 淡如甫批評」、「雲葛神女傳」、「安邑烈女錄 紅霞女子著 家兄雪庵 淡如甫批評」、「碧溝奇遇記」、「附松柏説話」、「附龍虎闘奇記」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

一四七（一四七）

(C. なし) (G. 130 『傳奇漫録』) (T. V. G. 1. P. 196  
『續傳奇』) (T. V. G. 2. 373. 『續傳奇』) (松本一 一八  
四頁 四八 『傳奇新譜』一帙) (松本二 なし) (山本一  
なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし)  
(山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 な  
し) (TVQG. R. 266 『傳奇新譜』、R. 1611 『傳奇新譜』)  
(TVKHXH. A. 48)

〔ヴェトナム語訳本・影印本・その他〕

段氏點撰、郭長城校點『傳奇新譜』(陳慶浩・王三慶主  
編『越南漢文小説叢刊 第二冊 傳奇類』(法國遠東學  
院出版、臺北 臺灣學生書局發行、中華民國七六年(一  
九八七)四月)所収(一九九一頁)

六二、文明鼓吹詩集 写本一冊 (黎聖宗)

(二四四—六二—一)

この写本(二三・〇cm×一三・七cm)は、表紙は洪塗  
り反古紙で、題簽なし。副葉子一葉。封面なし。本文卷  
頭題署は「文明鼓吹詩集」で、本文(三七葉、一頁七行、  
一行二〇字前後)第一葉に「御製拜謁山陵感成 洪德二  
十二年(一四九一)二月十一日 奉直大夫大學士臣申仁

忠奉評臣奉覓」とあるが、詩篇なし。ついで「臣申仁忠、  
東閣大學士黎廣志、黎俊彦、阮仲懿、翰林院書臣武睿、  
陳克念、武耿、楊直源、程志森、申仁信、范道富らの奉  
廣」がある。さらに「御製天域江曉羅? 洪德二十二年  
(一四九一)春初九日」と「皇太子、梁王、建王、福王、  
鎮王、申仁忠、陶舉、黎廣志、黎俊彦、范福昭、阮仲懿、  
黎宗、武睿、陳克念、范暉、黎仁絃、楊直源、段惠榮、  
程志森、申仁信、范道富らの奉廣」、「御製舟至壁山追懷  
聖祖勲奉詩 用進退格時洪德二十二年(一四九一)二  
月初九日」と「皇太子、梁王、唐王、建王、福王、鎮王、  
申仁忠、陶舉、黎廣志、黎俊彦、范福昭、阮仲懿、陳?  
(黎)宗穎、武睿、陳克念、吳煥奉、武耿奉、范暉、楊  
直源、程志森、申仁信、范道富らの奉廣」、「御製光德殿  
上拜謁礼終思感奉俄成四韻 時洪德二十二年(一四九  
一)二月十一日」と「皇太子、梁王、唐王、建王、福王、  
鎮王、申仁忠、陶舉、范福昭、陳?(黎)宗穎、武睿、  
陳克念、吳煥、武耿、范福昭(? )、黎亭?(仁)絃、  
楊道?(直)源、段惠榮?、程志森、申仁信、范道富ら  
の奉廣」、「御製幸建瑞堂偶成 評臣申仁忠奉評臣奉覓」  
と「皇太子、梁王、唐王、建王、福王、鎮王、申仁忠、  
陶舉、黎廣志、武睿、陳克念、吳煥、武耿、范暉、黎

亭? (仁) 絃、楊直源、段惠榮?、程志森、申仁信、范道富らの奉賡」、「御製三月初壹日大駕上京十日御舟駐于翠靄洲康僚迎拜百姓聚覓乃寫之五十六字 以記其實 評臣申仁忠奉評臣(奉覓)」と「皇太子、梁王、唐王、建王、福王、鎮王、申仁忠、陶舉、黎廣志、黎俊彦、陳克念、吳煥、武耿、范暉、黎亭? (仁) 絃、段惠榮?、程志森、范道富、阮仲懿、范福昭らの奉賡」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) (G. 八四『文明鼓吹』) (T. V. G. 1. L. 37『文明鼓吹』、P. 77『文明鼓吹』) (T. V. G. 2. 270.『文明鼓吹』) (松本一 なし) (松本二 なし) (山本一 なし) (山本二 なし) (川本 なし) (山本三 なし) (山本四 なし) (藤原 なし) (東 なし) (東写 なし) (TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

まとめ

以上、松本文庫が所蔵する安南本(漢喃本)について解題したが、次に「まとめ」としてその特徴について記しておく。

その特徴の第一は、点数は六〇点と限られており、大

松本信廣博士将来の安南本について (下)

部のものは少ないが、一部門に偏らず、広範かつ体系的に収集されている点にある。すなわち、『大越史記』、『越史通鑑綱目』、『大越史約』、『野史輯編』、『中學越史撮要』などの史書をはじめ、『公餘捷記』、『見聞小録』、『芸臺類語』などの類書、『大越地輿全編』、『北城地輿誌』、『皇越地輿誌』、『新訂南國地輿誌』などの地誌、『皇越律例』、『皇越律例纂要』、『國朝律學揀要』、『國朝律例撮要』、『嘉隆均給官田法』、『皇朝制度畧』などの法律書、『皇越詩選』、『黃閣遺文』、『抑齋遺集』、『梁溪文艸』、『鸚言詩集』、『明良錦繡詩集』、『新編傳奇漫録解音集註』などの詩集・伝奇類があり、それ以外にも、『世代源流刀耕火種評皇券牒』、『玉山經壇神化除災解難金冊』、『訂輯天南地鑑』などの宗教関係文書や、中国人の著作ではあるが『東遊叢録』、『遊學紀聞』などの視察報告書をも含んでいる。

その特徴の第二は、前近代(西暦一九世紀以前)の著作のみならず、近現代(西暦二〇世紀)のものが少なからず収集されている点にある。すなわち、『中學越史撮要』(一九一一年)、『大越史約』(一九〇六)、『越史要』(一九一四)、『地理科學』、『南國地輿誌』(一九〇八)、『新學摘要』、『國朝律學揀要』(一九一〇)、『國朝律例撮



要』(一九〇九)、『新學摘要』、『東遊叢録』、『遊學紀聞』などがそれである。

その特徴の第三は、旧フランス極東学院をはじめベトナム本国やフランスなどの他の機関にも所蔵されておらず、従来発表されている安南本(漢喃本) 解題にも見当たらない貴重なものが収集されている点にある。すなわち、『安南志略』と合冊の『越南淺史』、『南史畧説』と合冊の『北史畧説』と『春秋畧説』、『新學摘要』、『皇朝制度略』、『習政雜編』、『遊學紀聞』、『富溪文集』などがそれである。なお、これらの著作は、中国人の著作を除いては、編著者が不明なものが多い。

その特徴の第四は、数の上では多くはないが、日本に關係するものが収集されている点である。すなわち、『日本見聞録』、および中国人の著作の『東遊叢録』と『遊學紀聞』がそれである。

以上、慶應義塾大学図書館が所蔵する「松本文庫」のうち安南本(漢喃本) 六〇点について解題し、その特徴について記したが、松本信廣先生が将来された安南本(漢喃本) を解題することによって、先生の学恩に少しでも報いることができたならば、先生の最後の口咳に接した者として幸いである。なお、遺漏や誤謬も少なくな

いと思うので、忌憚のないご指摘・ご叱正をお願いしたい。

#### 〔訂正〕

(上) (本誌六二一・二)・(中) (本誌六二一・三) について、左記のように訂正する。

(上)

一六五頁上段一二行目の「所蔵の「永田文庫」の九二点を除いては」↓「所蔵の「永田文庫」の九二点および国立国会図書館や天理図書館所蔵の数点を除いては」

(中)

一二七頁上段一一行目の「卷数不詳」↓「卷数不詳」

一三一頁下段九行目の「(王道成)」↓「(黄道成)」